

令和2年度11月号 [11月16日(発行)]



東風だより

川口市立東中学校
川口市東本郷2-20-47番地
TEL 048-281-4065
特別支援学級 285-2423
さわやか相談室 281-4627
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/higashi-j/>

上越線土合駅

校長 安部正幸

土合駅：1936年12月19日開業。群馬県みなかみ町湯檜曾218-2。上り線が地上駅、下り線が地下駅になっている。地下駅から改札口までは462段+24段の階段を登らなければならないことから『日本一のモグラ駅』として親しまれている。階段横にはエスカレーター設置のためのスペースはあるが、今も設置の予定はない。今年8月8日駅舎内に喫茶『mogura』がオープン。この11月14日グランピング施設『DOAI BILLAGE』がグランドオープンした。

多くの人に親しまれてきた駅

中学生時代を川口市で過ごした皆さんであれば、水上自然教室（水上林間学園）の時のハイキングで、この階段を登った記憶のある人も多いのではないのでしょうか。

今でこそ山間の無人駅ですが、以前は谷川岳を目指す多くの登山客でにぎわいました。また、上り線の地上駅から北方を見ると国道踏切の向こうに清水トンネルの入口が見えます。川端康成が小説『雪国』の冒頭で「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。」と書いた長いトンネルの入口がここです。トンネルの向こう側がまさに雪国（新潟県越後湯沢）となるわけです。すでに山間部では、雪の便りが届いているようです。間もなく、ここも雪の季節を迎えることになるでしょう。また、この上越線には近くの山中を、円を描くように1周して電車が山を下っていく（登っていく）珍しいトンネルもあります。これをループトンネルと言います。

土合駅へ行けなかった3年生と2年生

昨年の上水自然教室では2日目に大雨警

報が発令されたためハイキングを中止しました。そして、今年は新型コロナウイルスの影響で水上自然教室そのものが中止になってしまいました。このため3年生と2年生は、この土合駅の階段を登ることができていません。現在、東中の生徒の中に個人的にこの駅に行った人を除けば、この階段を知っている人がいなくなってしまったこととなります。こんなところにも行事中止の影響を強く感じているところです。

いつかは土合駅へ

一昨日、グランピング施設がオープンしたというニュースを聞きました。これからは駅近くで宿泊もできそうです。特に、ここへ行けなかった3年生・2年生には、いつの日かこの地を訪れて、あの階段を登ってほしいと思っています。

実は階段の登りが苦手な人にも朗報があります。それは水上側ではなく、越後湯沢側から電車に乗り越後湯沢側へ電車で帰れば、階段は登らずに下るだけで済みます。ただし1日当たりの電車の本数は5～6本ですので、乗り遅れには注意が必要です。